



株式会社DDホールディングス

2018年2月期

決算補足説明資料Ⅰ（業績・財務情報）

2018年4月17日

証券コード：3073



連結業績

1 売上高47.8%、経常利益：54.8%と大幅な増収増益
→事業拡大に加え、展開エリア、業態ともに拡充

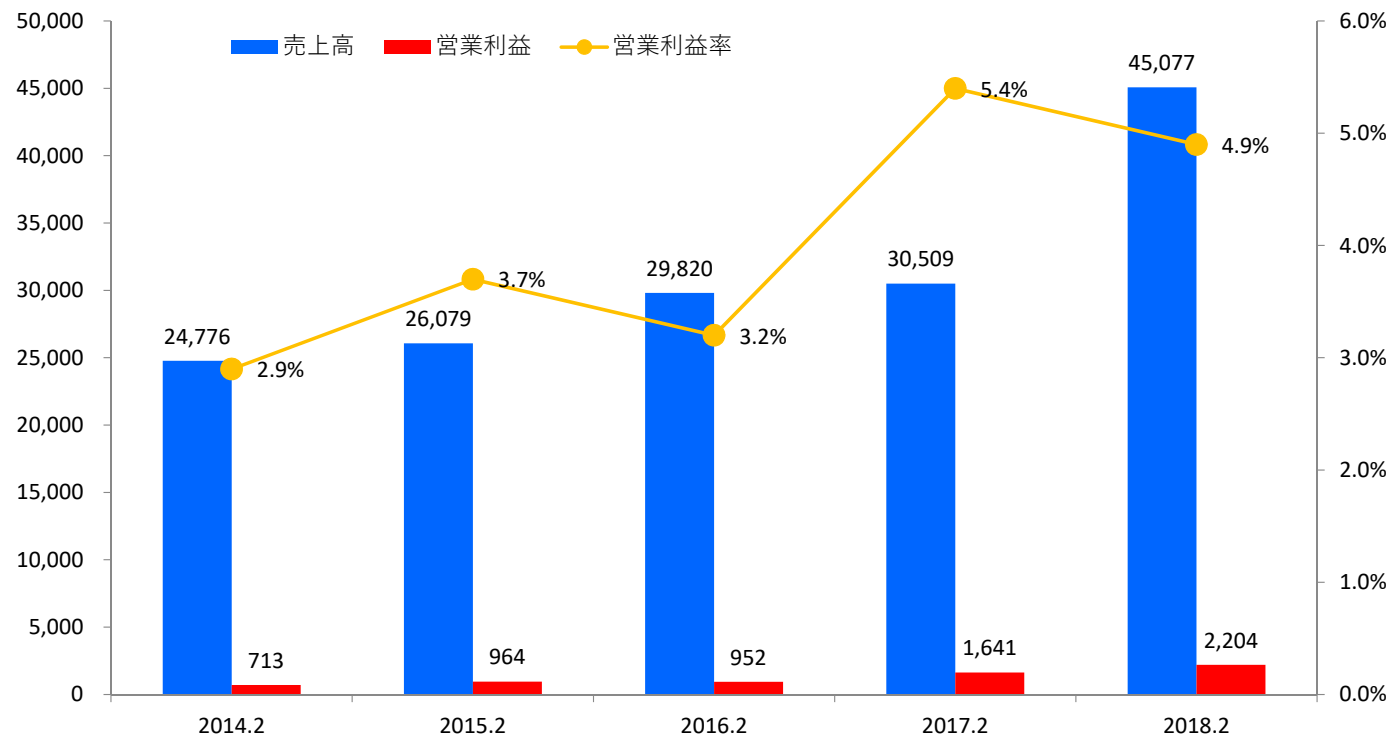
2 順調なM&A実行により2社の連結子会社化を実施
→事業拡大に加え、M&A戦略のとおり展開エリア、ノンアルコール事業ともに拡充

3 国内既存店通期101.8%と計画を上回る着地
→飲食：100.1%、アミューズメント：106.1%（14カ月連続昨対超）

4 新規事業の開業やグループ集約等に係る一過性の費用計上
→来期以降のグループ効率性や事業ポートフォリオの拡充を図る

2018年2月期は大幅な増収増益となり、売上高・段階利益全てにおいて過去最高を達成

(単位：百万円)



連結業績



(単位：百万円)

	2017年2月期 (累計)	2018年2月期 (累計)	増減額	増減率	コメント
売上高	30,509	45,077	14,567	47.8%	既存店昨対比(注1)101.8%と順調に推移 (飲食：100.1%、アミューズメント106.1%) 当第2四半期より連結子会社2社加わった事での増加
売上原価	6,408 21.0%	10,570 23.4%	4,161	64.9%	前年連結範囲(株)ゼットン、(株)商業藝術、(株)The Sailing除く)の売上原価率は20.7%と前同累計期間から0.1point上昇
売上総利益	24,101 79.0%	34,506 76.6%	10,405	43.2%	▲2.4point
販売費及び 一般管理費	22,460 73.6%	32,301 71.7%	9,841	43.8%	順調な売上高推移に伴い 主な要因として固定費である、地代家賃：▲1.8point ▲2.0point 減価償却費：▲0.5point
営業利益	1,641 5.4%	2,204 4.9%	563	34.4%	①主な理由として、(株)ゼットン、(株)商業藝術を連結子会社化したこと②既存店の売上が順調に推移したことで、 ▲0.5point 前期比34.3%の成長を達成
経常利益	1,435 4.7%	2,223 4.9%	787	54.8%	0.2point
親会社株主に帰属する 当期純利益	648 2.1%	1,010 2.2%	362	55.8%	連結子会社の一部店舗の固定資産について保守的に 将来収益を見直した結果、減損損失751百万円の特 0.1point 別損失を計上

※注1 既存店昨対比には当第2四半期会計期間より連結子会社となった(株)ゼットン及び(株)商業藝術の昨対比は含めておりません。

セグメント別業績 – 売上高 –



(単位：百万円)

(売上高)	2017年2月期 (累計)	2018年2月期 (累計)	増減額	増減率	コメント
国内飲食	21,064	34,846	13,782	65.4%	既存店昨対比（注2）100.1%と順調に推移したことに加え、当第2四半期より㈱ゼットン、㈱商業藝術の2社を連結子会社化したことによる増加
海外飲食	1,416	1,511	95	6.7%	Diamond Wedding LLC.の業績が前年対比127.2%と順調に推移したことによる増加
アミューズ メント	8,029	8,719	690	8.6%	パーティー需要の取込や各業態での店内施策が好調に推移したことで既存店昨対比106.1%と順調に推移したことによる増加
合計	30,509	45,077	14,567	47.7%	

※注1 当第1四半期連結累計期間より、経営管理区分の見直しを行った結果、「飲食事業」と「ライセンス事業」を集約し、「飲食事業」として表示する方法に変更しております。

※注2 既存店昨対比には当第2四半期会計期間より連結子会社となった㈱ゼットン及び㈱商業藝術の昨対比は含めておりません。

セグメント別業績 – 営業利益 –



(単位：百万円)

(営業利益)	2017年2月期 (累計)	2018年2月期 (累計)	増減額	増減率	コメント
国内飲食	2,406 11.4%	3,656 10.5%	1,249	51.9% ▲0.9point	当第2四半期より(株)ゼットン、(株)商業藝術の連結子会社化による増加京都ウェディング事業を含む15店舗の開業に伴うイニシャルコストの発生
海外飲食	▲181 -	▲96 -	84	- -	ハワイウエディング事業の立ち上げに伴う赤字幅の縮小
アミューズ メント	1,118 13.9%	1,538 17.6%	420	37.6% 3.7point	ビリヤード・ダーツ・カラオケ業態が好調で増益新規事業（カプセルホテル）及び新規出店の立ち上げによるイニシャルコストの発生
本部調整	▲1,703	▲2,894	▲1,190	-	
合計	1,641 5.4%	2,204 4.9%	563	- ▲0.5point	

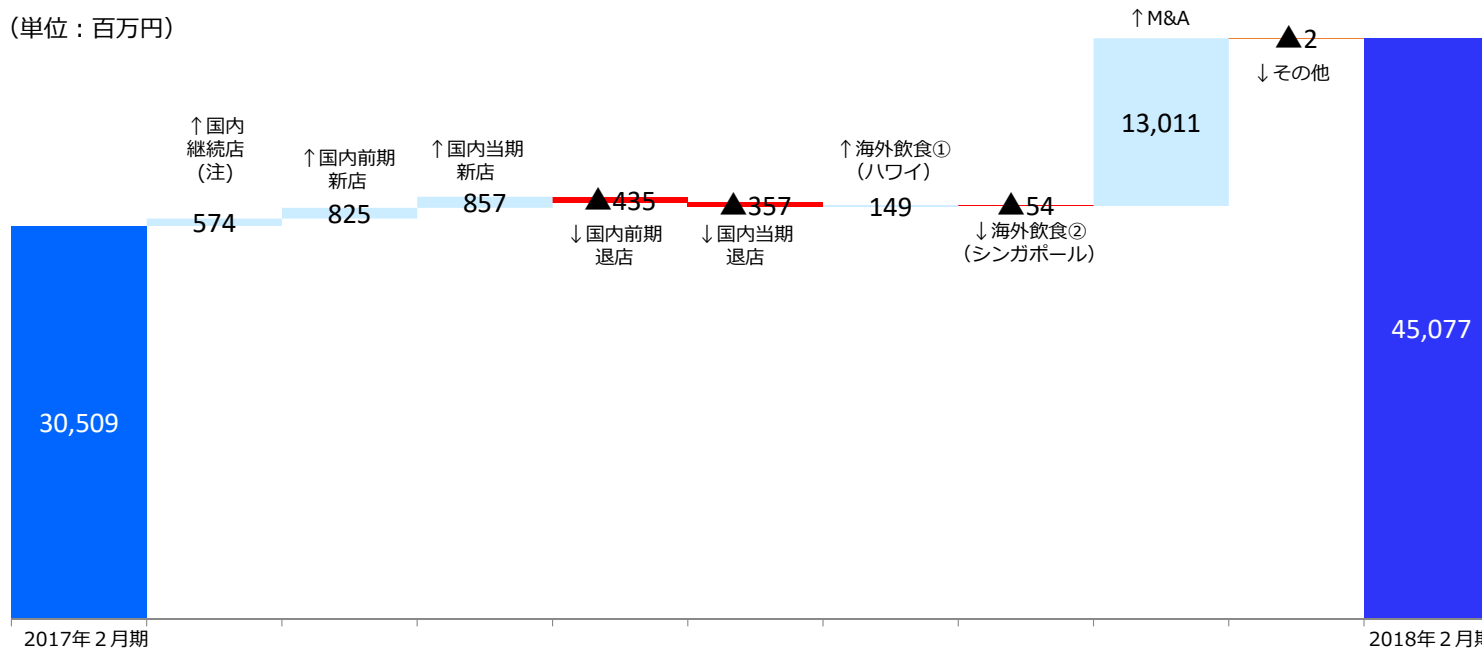
※注 当第1四半期連結累計期間より、経営管理区分の見直しを行った結果、「飲食事業」と「ライセンス事業」を集約し、「飲食事業」として表示する方法に変更しております。

売上高対前年増減要因



2018年2月期は、前期に出店した店舗が通期寄与したこと及び既存店が順調に推移したこと。
加えて、第2四半期会計期間より(株)ゼットン、(株)商業藝術を連結子会社化したことにより47.8%の増収

(単位：百万円)

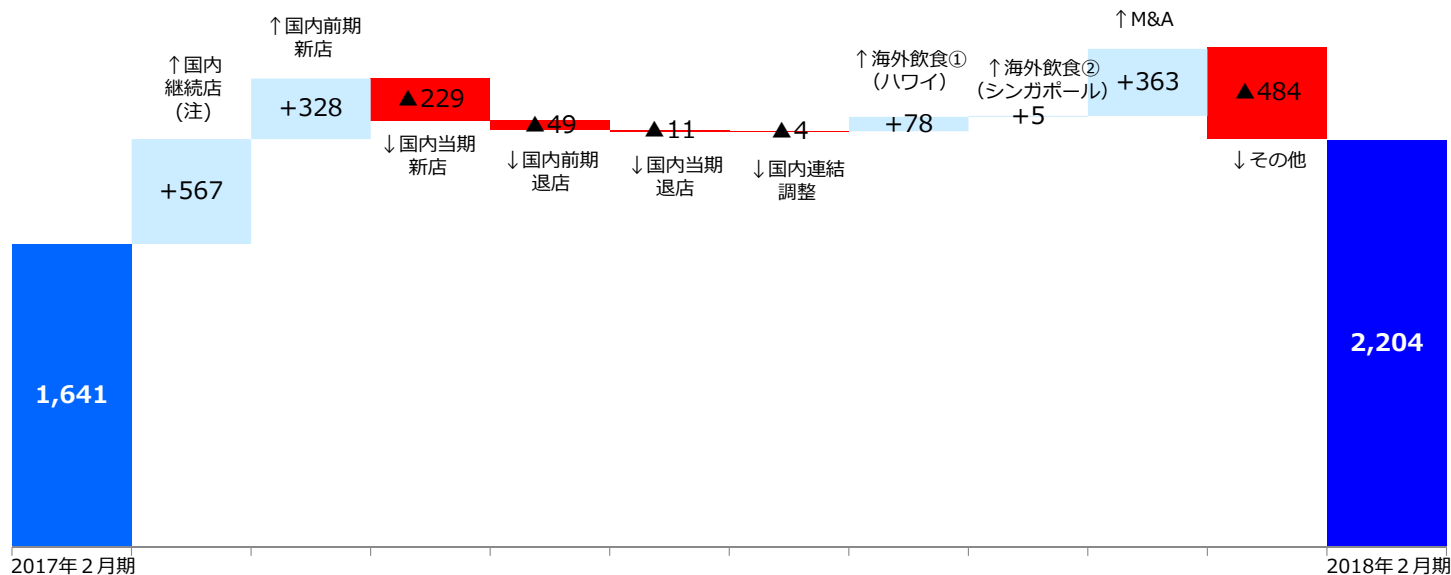


※注 国内継続店とは2017年2月末日時点で継続して1年以上営業している国内の店舗とする（前期新店を除く）

営業利益対前年増減要因

2018年2月期は、持株会社体制移行等に伴う一過性費用の発生があったものの、販管費の低減に加え、連結子会社化した(株)ゼットン、(株)商業藝術の収益寄与により、34.3%の増益を達成

(単位：百万円)

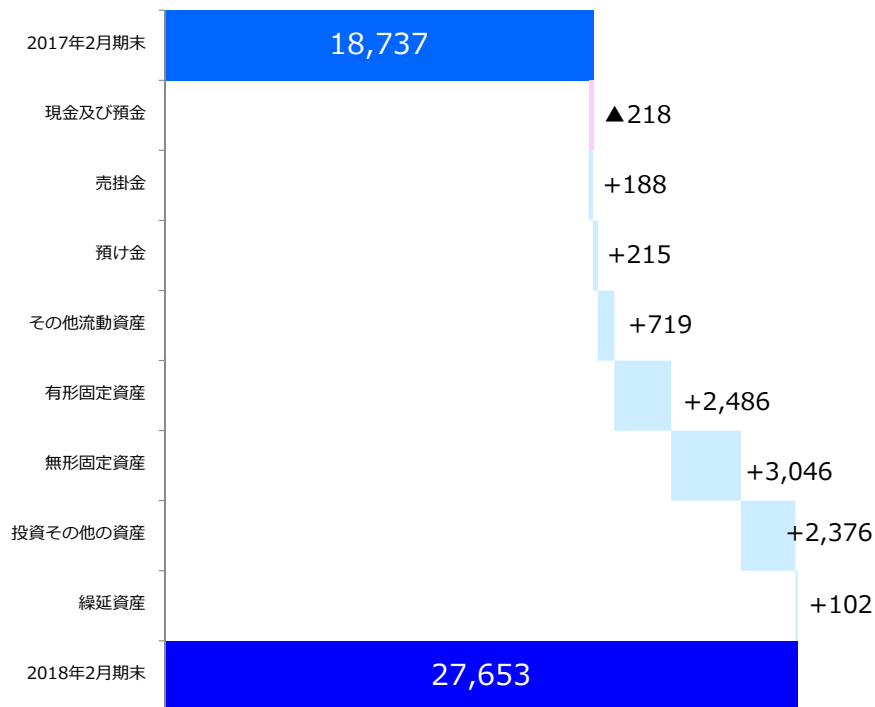


※注 国内継続店とは2017年2月末日時点で継続して1年以上営業している国内の店舗とする（前期新店を除く）

連結B/S 資産の部サマリー



(単位：百万円)



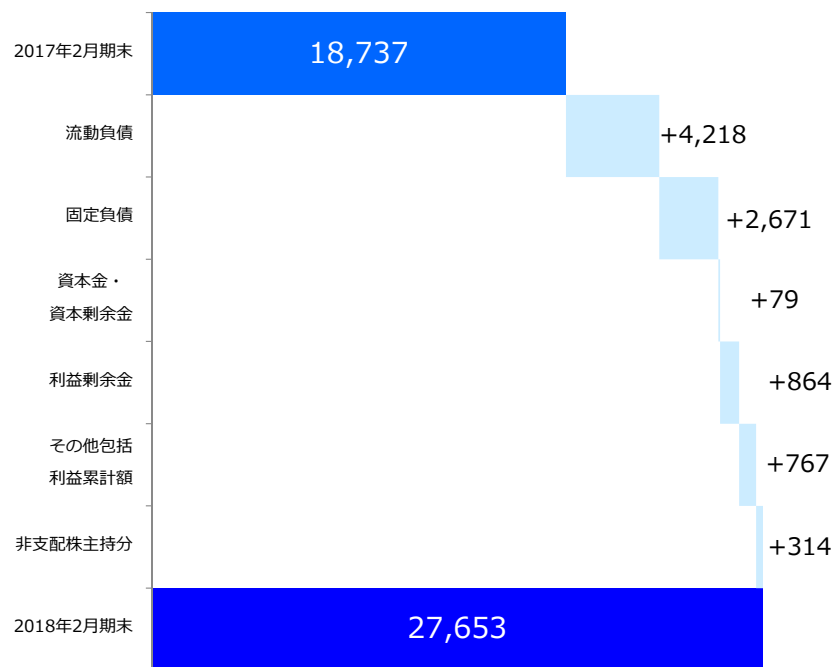
主な増減

【流動資産】	+904
・ 現金及び預金	▲218
・ 売掛金	+188
・ 預け金	+215
【固定資産】	+7,908
● 有形固定資産	+2,486
● 無形固定資産	+3,046
・ のれん	+3,026
● 投資その他の資産	+2,376
・ 投資有価証券	+525
・ 差入保証金	+1,224
【繰延資産】	+102
・ 開業費(The Sailing)	+102
【資産合計】	+8,915

連結B/S 負債・純資産の部サマリー



(単位：百万円)



主な増減

【流動負債】	+4,218
● 買掛金	+588
● 短期借入金	+1,520
● 1年以内長期借入金	+1,198
● 未払費用	+489
【固定負債】	+2,671
長期借入金	+2,009
資産除去債務（固定）	+457
【純資産】	+2,025
● 資本金・資本剰余金	+79
● 利益剰余金	+864
● その他の包括利益累計	+767
● 非支配株主持分	+314
【負債・純資産合計】	+8,915

(単位：百万円)

	2017年2月期 (累計)	2018年2月期 (累計)	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,621	2,003	▲618
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲3,037	▲3,640	▲603
フリー・キャッシュフロー	▲416	▲1,637	▲1,221
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,376	886	▲490
現金及び現金同等物の増加額	937	▲784	▲1,721
連結の範囲変更に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	731	731
現金及び現金同等物の期末残高	4,845	4,793	▲52

店舗数及び出退店状況



	2017年2月期 通期実績				2018年2月期 通期予想				2018年2月期 通期実績			
	新規 出店	業態 変更	退店	期末 店舗数	新規 出店	業態 変更	退店	期末 店舗数	新規 出店	業態 変更	退店	期末 店舗数
国内 飲食事業	14	8	6	218	14	7	4	228	161 ※1	6	15	364
海外 飲食事業	0	0	4	3	1	0	1	3	3 ※2	0	0	6
アミューズ メント事業	7	-1	2	52	2	0	1	53	3	0	0	55
直営 店舗数	21	8	12	273	17 (▲4)	7 (▲1)	6 (▲6)	284 (+12)	167 (+146)	6 (▲2)	15 (+3)	425 (+152)
ライセンス 事業	0	0	1	8	0	0	0	8	8 ※3	0	1	15
店舗総数	21	8	13	281	17 (▲4)	7 (▲1)	6 (▲7)	292 (+11)	175 (+154)	6 (▲2)	16 (+3)	440 (+159)

※注1 国内飲食事業の新規出店数161店舗のうち、2017年6月1日より連結子会社化した(株)ゼットン及び(株)商業藝術の店舗145店舗が含まれております。

※注2 海外飲食事業の新規出店数3店舗は、2017年6月1日による連結子会社化した(株)ゼットンの店舗3店舗であります。

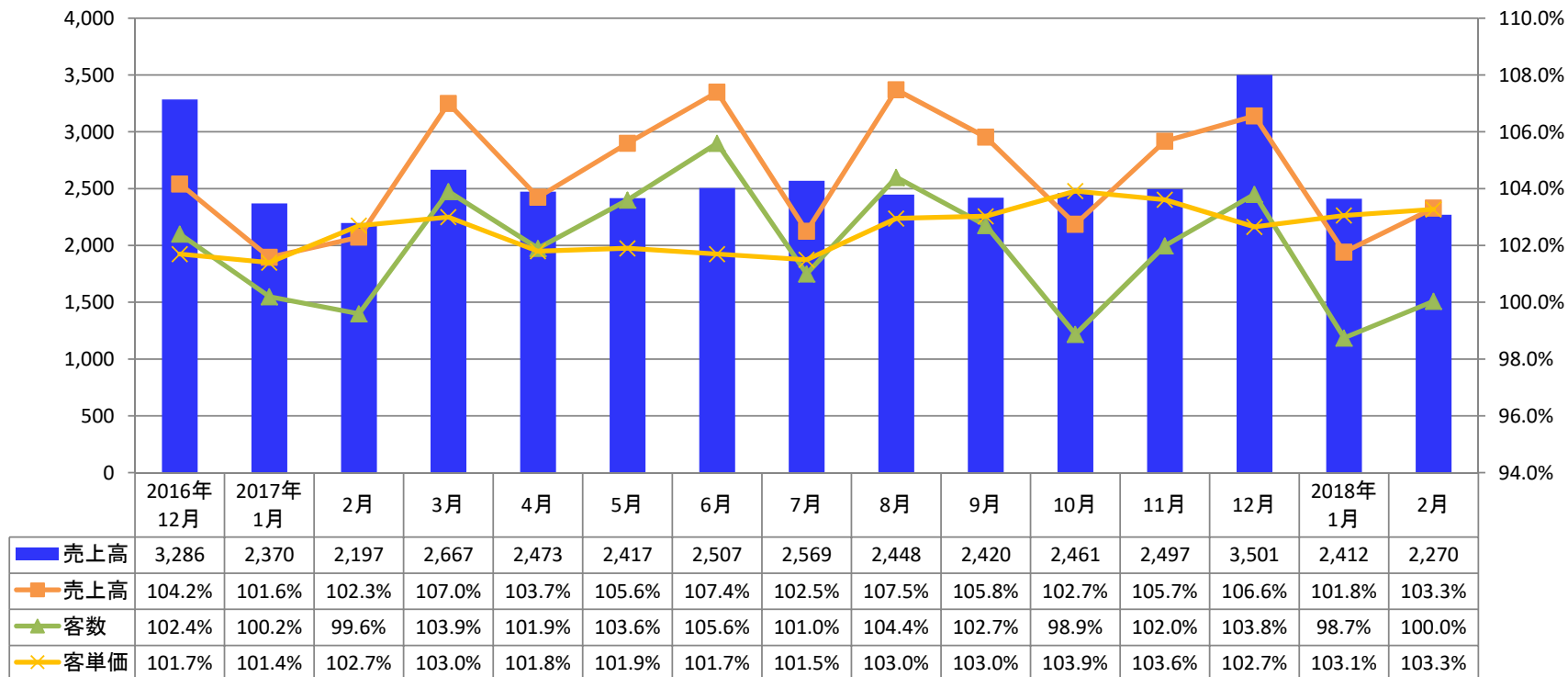
※注3 ライセンス事業の新規出店数8店舗は、2017年6月1日による連結子会社化した(株)ゼットンの店舗8店舗であります。

国内全店

売上高・客数・客単価 前年同月比



(単位：百万円)



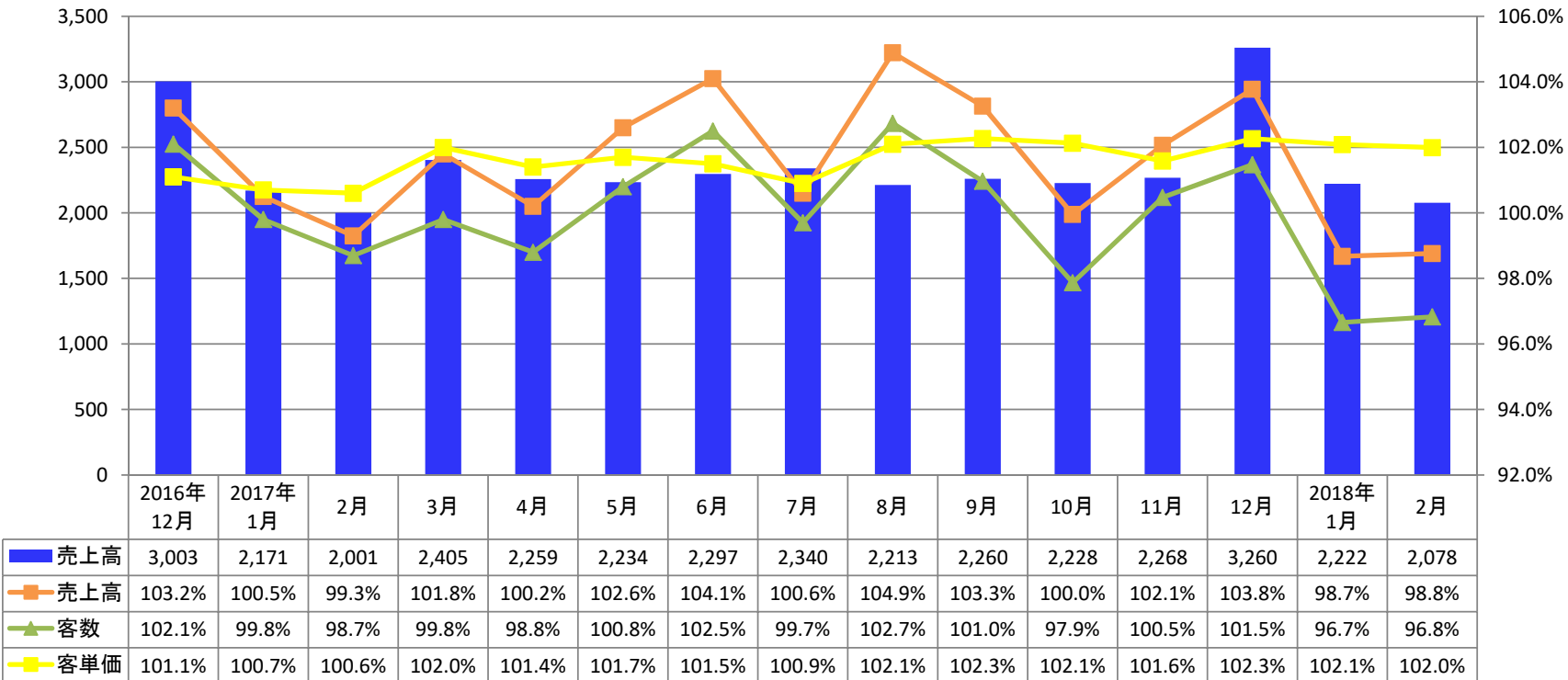
※注1 全店同月比には当第2四半期会計期間より連結子会社となった㈱ゼットン及び㈱商業藝術の昨対比は含めておりません。
Copyright © DD Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

国内既存店

売上高・客数・客単価 前年同月比



(単位：百万円)



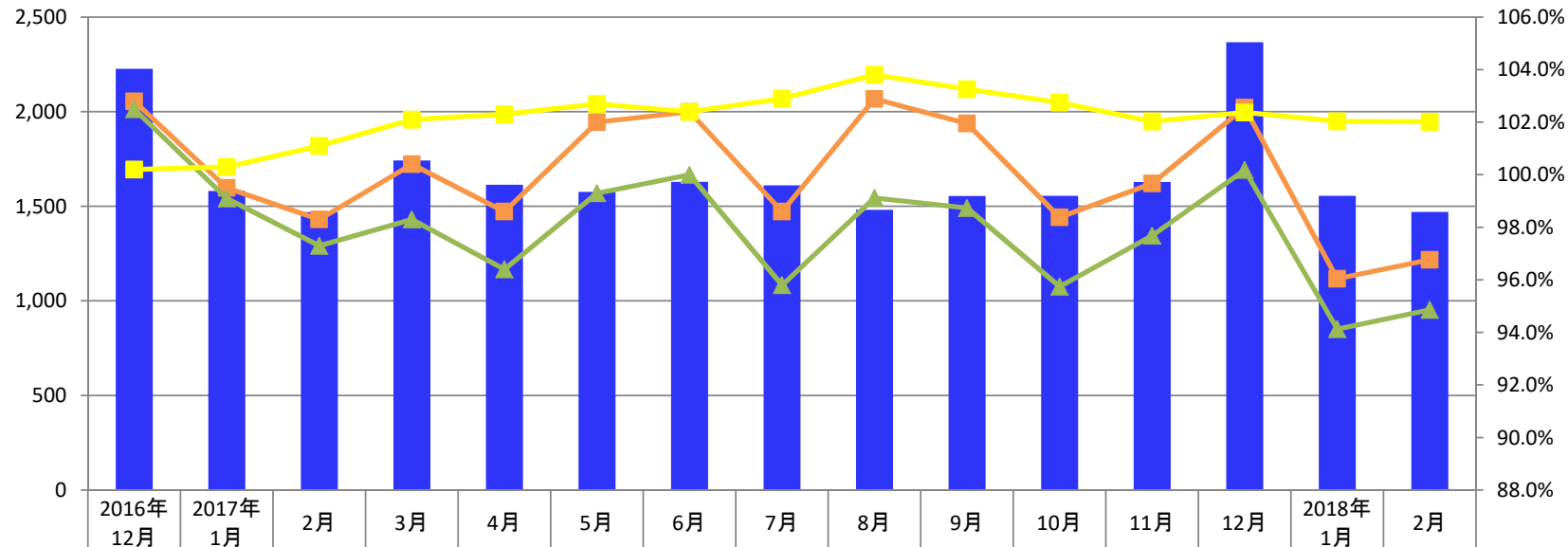
※注1 国内既存店同月比には当第2四半期会計期間より連結子会社となった㈱ゼットン及び㈱商業藝術の昨対比は含めておりません。
Copyright © DD Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

国内飲食既存店

売上高・客数・客単価 前年同月比



(単位：百万円)



■ 売上高	2,227	1,581	1,470	1,743	1,614	1,576	1,629	1,611	1,482	1,555	1,556	1,628	2,367	1,555	1,470
■ 売上高	102.8%	99.5%	98.3%	100.4%	98.6%	102.0%	102.4%	98.6%	102.9%	102.0%	98.4%	99.7%	102.6%	96.0%	96.8%
▲ 客数	102.5%	99.1%	97.3%	98.3%	96.4%	99.3%	100.0%	95.8%	99.1%	98.7%	95.7%	97.7%	100.2%	94.1%	94.9%
■ 客単価	100.2%	100.3%	101.1%	102.1%	102.3%	102.7%	102.4%	102.9%	103.8%	103.3%	102.8%	102.0%	102.4%	102.0%	102.0%

※注1 既存店同月比には当第2四半期会計期間より連結子会社となった㈱ゼットン及び㈱商業藝術の昨対比は含めておりません。

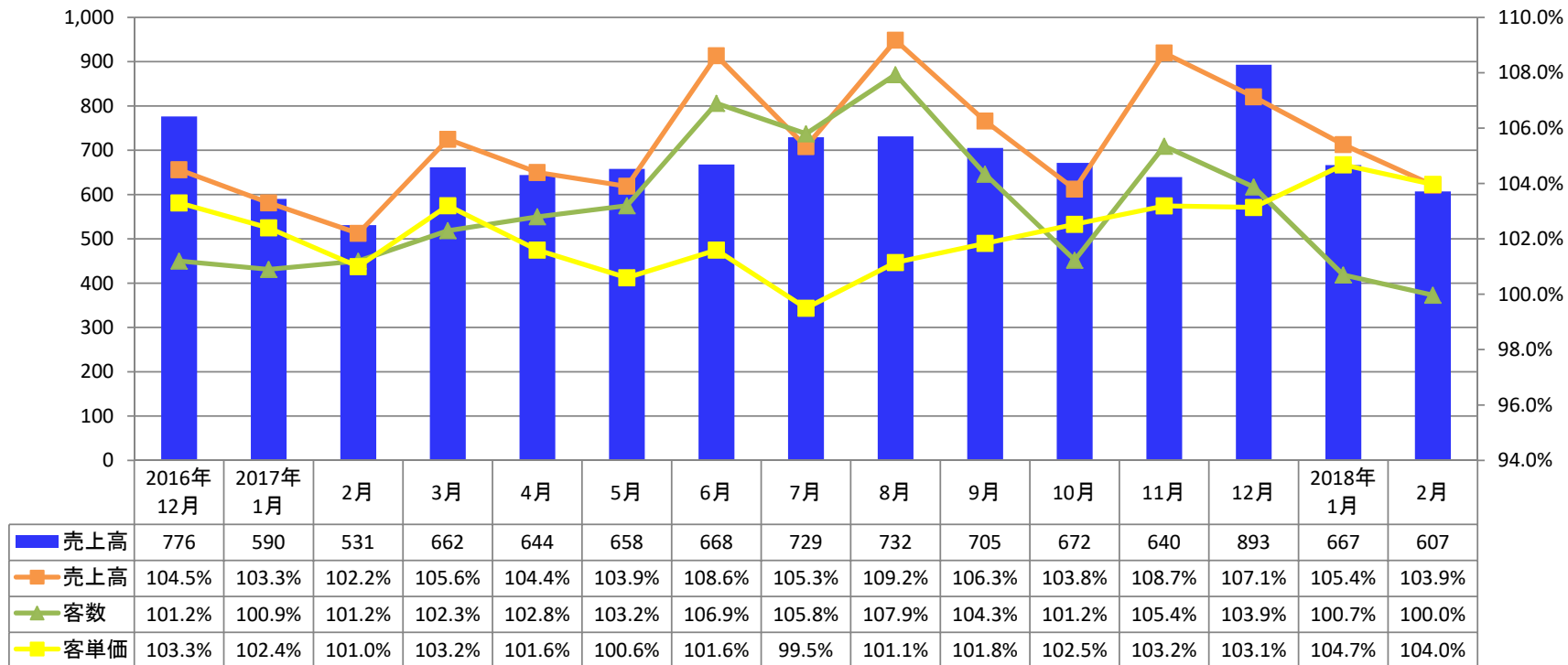
Copyright © DD Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

国内アミューズメント既存店

売上高・客数・客単価 前年同月比



(単位：百万円)



※注1 既存店同月比には当第2四半期会計期間より連結子会社となった㈱ゼットン及び㈱商業藝術の昨対比は含めておりません。
Copyright © DD Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

- ・前期比：売上高13.3%、経常利益16.8%増の3期連続での増収・増益を目論む
- ・2019年2月期においては、収益ブランドを上期中心に出店し出店イニシャル影響の最小化を計画

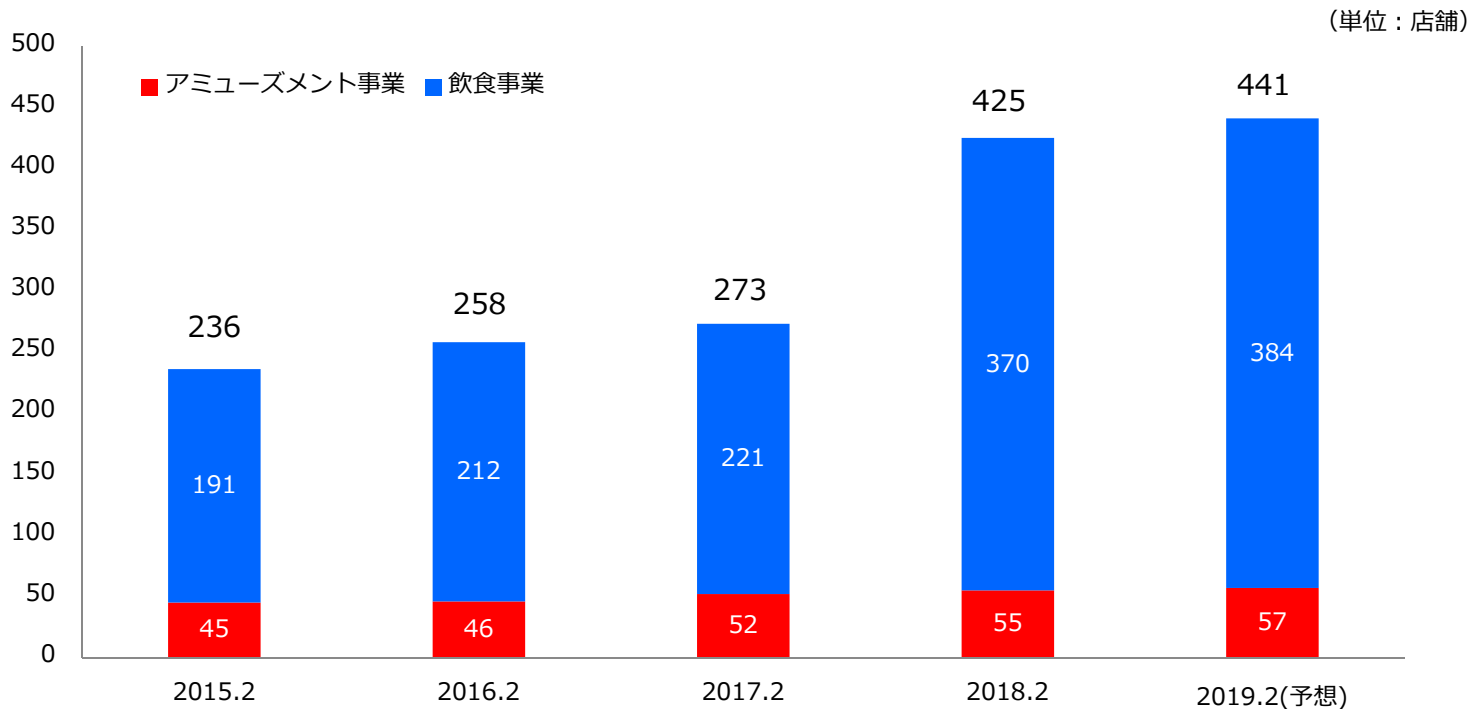
	2018年2月期 (実績)	2019年2月期 (通期予算)	増減率	コメント
売上高	45,077	51,078	13.3%	(前提条件) ・既存店前年対比：(飲食事業：100.0%、アミューズメント：101.1%) ※注1 ・新規出店店舗数：16店舗 (国内：14店舗、海外：2店舗)
営業利益	2,204 4.9%	2,529 5.0%	14.7% 0.1point	・ビール仕入額の上昇及び今後の食材費上昇懸念を勘案し売上原価 1.1point上昇を保守的に見込 ・持株会社体制への移行及びグループ本社集約等に係る一過性の費用を見込 まないことにより、販売費及び一般管理費比率1.2point減少
経常利益	2,223 4.9%	2,597 5.1%	16.8% 0.2point	
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,010 2.2%	1,402 2.7%	38.8% 0.5point	

※注1 既存店昨対比には当第2四半期会計期間より連結子会社となった㈱ゼットン及び㈱商業藝術の昨対比の前提に含めておりません。

2019年2月期予算_出店計画

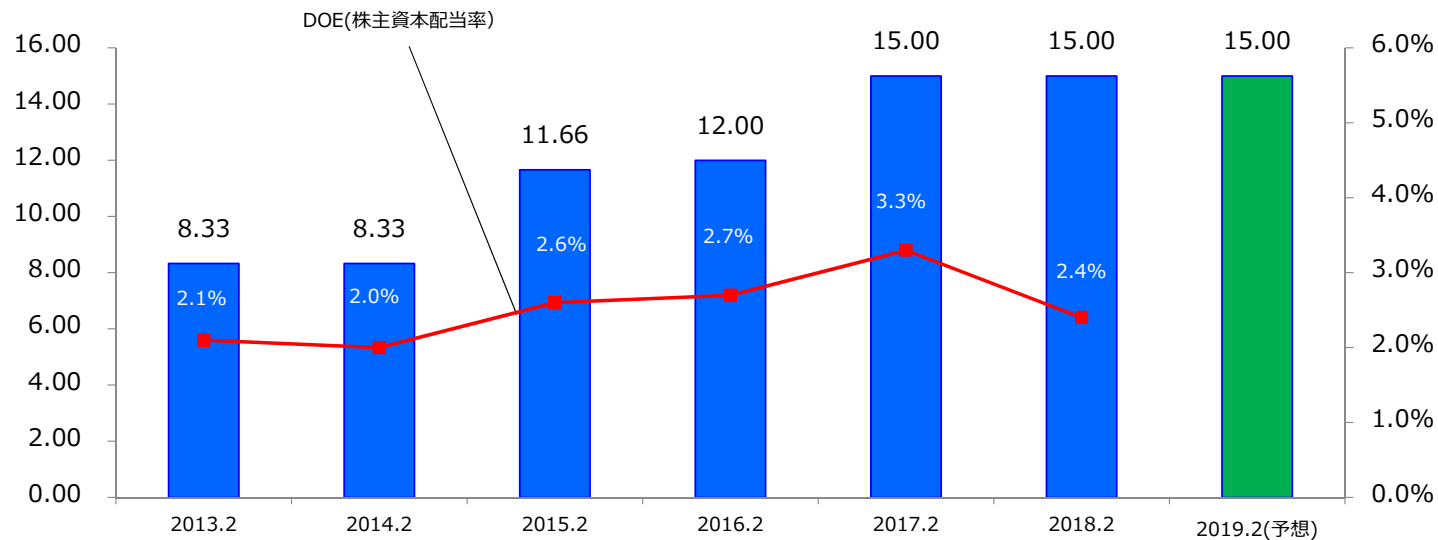


2019年2月期においては、国内14店舗、海外2店舗の新規出店合計16店舗の計画



※注1 持分法適用関連会社である㈱エスエルディーの店舗数は上記数字に含めておりません。
Copyright © DD Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

(単位：円)



※注1 2015年3月1日付で1株につき3株の割合をもって株式分割を行っており、分割実施を考慮して計算しております。

※注2 DOE(株主資本配当率)は、年間配当額÷自己資本にて算出

本資料につきましては、株主・投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。また、本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上でご利用ください。

尚、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、株主・投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、株主・投資家の皆様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

お問合せ先

グループ経営企画本部 IR部

T E L : 03-6858-6082

F A X : 03-6858-6083

E-mail : ir@dd-holdings.com



DD HOLDINGS